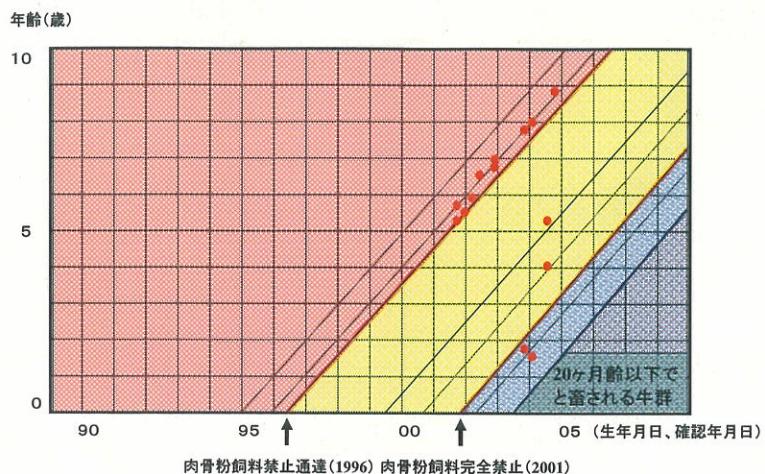
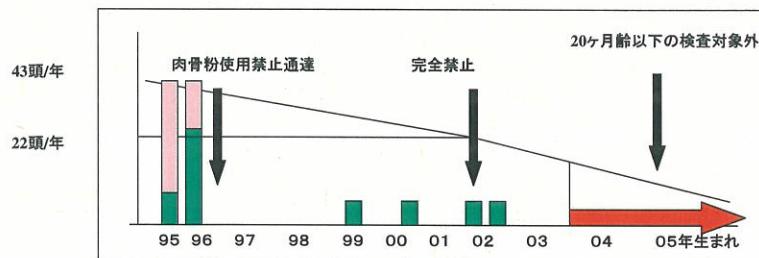


日本のBSE検査陽性牛の生年月日と確認年月日



日本での規制による効果・予測



- 1995年、1996年生まれのロットは最終的に年間43頭の汚染(4歳から10歳以上まで合計)
- 1996年の肉骨粉使用禁止通達の一一定の効果があったと思われる
英國、スイスの飼料規制効果(0.29~0.6)とすれば6年後にはBSE検査陽性牛は年間6~13頭。
- BSE感染牛はその1.5倍で年間9~20頭。
- 20ヶ月齢以下の牛は、と畜牛の年齢分布から12%とすると、年間1~2頭。
- さらに、2001年の規制によりリスクは減少(禁止直後は遵守されなかつかも知れない)。

2001年の規制の効果は、定量的に検証するには時間的経過の観点から時期尚早。
ただし、定性的には、リスクは完全禁止前よりもさらに低くなると推定される。